

快適な住空間をめざして

**ALIA**  
Association of Living Amenity

一般社団法人リビングアメニティ協会 (ALIA) は、  
住宅設備および建材に関わる企業・団体で構成される法人です。

快適な住空間の提供をめざし、  
調査研究や情報の収集・発信に積極的に取り組んでいきます。

一般社団法人 リビングアメニティ協会

# 会長あいさつ

一般社団法人リビングアメニティ協会(ALIA)は、1976年に設立された優良住宅部品(BL部品)の開発・普及を目指すBL推進協議会を前身とし、1990年の発展的改組、2012年の一般社団法人化を経て、住宅部品・住空間に関わる広範な活動を展開してまいりました。住宅設備および建材に関わる企業・団体が力を結集し、「良質な住宅部品の供給・普及」と「住宅部品の点検を核とした優良住宅ストック社会実現への貢献」を目指しています。

現在、住宅業界を取り巻く環境は、かつてない激動のさなかにあります。とりわけ懸念されるのが、中東情勢の動向です。中東地域における不安定な情勢は、物流コストの増大や原材料の供給不足を引き起こします。これらは住宅投資への悪影響を及ぼす懸念材料となり、サプライチェーンに対しても極めて深刻な影を落としています。こうした不透明な世界情勢の中にあって、資材・エネルギーコストの高騰に耐える強靱な産業構造の構築と、消費者への住宅部品の安定的な提供を両立させることは業界を挙げた重要課題であると認識しています。

一方国内では2026年3月に新たな「住生活基本計画」が閣議決定されました。2050年を見据え、住宅ストックの価値を最大限に活用し、人生100年時代を支える基盤を再構築していく方向性が明確に示されました。当協会においても、住生活基本計画の方針を受け、「ALIA中期活動計画(2026～2030年度)」を策定し、次なる5年を見据えた確かな一歩を踏み出します。

中東情勢に端を発するエネルギー不安を克服するためにも、2050年カーボンニュートラルやZEHの普及は社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。2026年度の事業計画では、住宅省エネ2026キャンペーンをはじめとする国の支援策を最大限に活用し、断熱性能に優れた外皮仕様や高効率な設備の普及を推進することを掲げております。

さらに、昨今重要なテーマとなっているのが「ライフサイクルカーボン(LCC)」削減への対応です。住宅部品の製造、施工、そして廃棄・リサイクルに至る全過程でのCO<sub>2</sub>排出量を適切に評価し削減していく取り組みは、これからの住まいづくりにおける新たなスタンダードとなります。関連団体等との連携を強めることで、地球環境に貢献できる持続可能な住生活の実現を目指してまいります。

住生活を取り巻く課題は、少子高齢化や労働力不足など、社会構造の変化と密接に関係しています。当協会は2020年に制定した「住宅部品×SDGs」宣言に基づき、これら社会課題の解決を事業の柱に据えています。特に「ALIAこども応援プロジェクト」は、SDGsの目標年である2030年まで継続する“第2ステージ”へと移行しました。こども食堂への支援などを通じ、住宅産業の持続的発展と社会貢献を両立させてまいります。

また安全・安心な住まいを次世代に引き継ぐためには、適切な「お手入れ・点検」が欠かせません。10月10日の「住宅部品点検の日」を中心に、ポータルサイトの拡充や普及啓発活動を通じて、住宅を長く大切に使う文化を社会に浸透させ、良質な住宅ストックが循環する社会を形成することは当協会の重要な活動となっています。

当協会は、国土交通省をはじめとする関係省庁や関連団体、そして会員企業の皆様との連携を一層強化し、社会から真に必要とされる存在を目指してまいります。皆様の温かいご支援と、各部会・委員会等への積極的なご参画を心よりお願い申し上げます。



一般社団法人  
リビングアメニティ協会 会長

魚津 彰

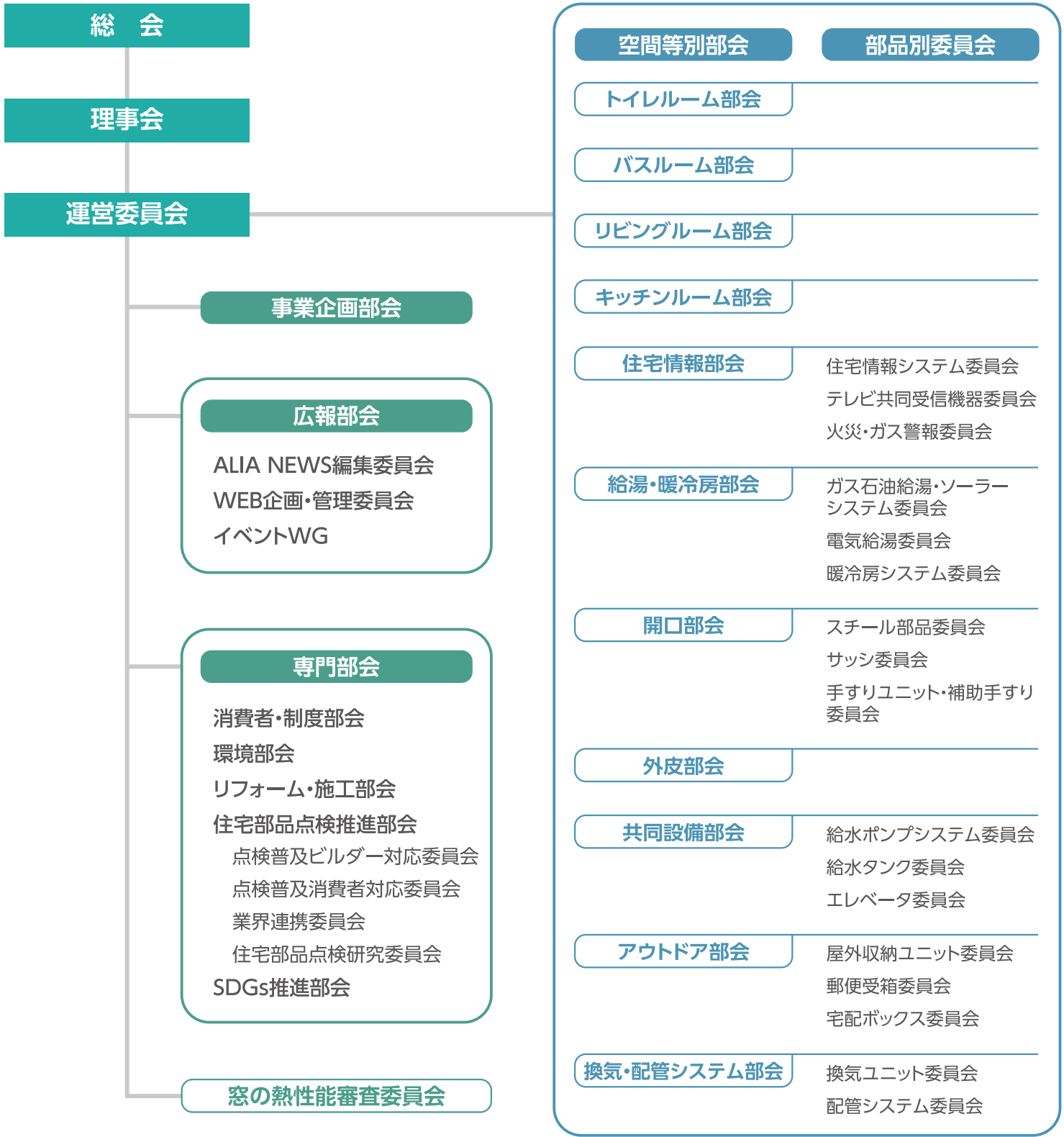
## 活動内容

- |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| ■優良な住空間の在り方及びその形成方法に関する調査研究     | ■住宅部品の使用、利用に関する調査研究              |
| ■住宅部品の機能、性能に関する調査研究             | ■住宅部品に関する情報の収集、提供及び優良な住宅部品の普及、啓発 |
| ■優良な住宅部品に向けた技術、システムに関する調査研究、開発等 | ■SDGs(持続可能な開発目標)への貢献             |
| ■住宅部品の供給(流通を含む)や施工に関する調査研究      | ■政府、関連団体等に対する提言、要望及び意見具申等        |

## 協会概要

- 会 員 数：正会員106社、賛助会員17社・団体(2026年6月)
- 会長・副会長会社：YKK AP(株)／TOTO(株)／(株)ノーリツ／パナソニック ハウジングソリューションズ(株)／(株)LIXIL／リンナイ(株)
- 理事・監事会社：(株)稲葉製作所／AGC(株)／(株)荏原製作所／大阪ガス(株)／クリナップ(株)／三協立山(株)／積水化学工業(株)
- DAIKEN(株)／タカラスタンダード(株)／東京ガス(株)／(株)パロマ／不二サッシ(株)／三菱電機(株)
- 美和ロック(株)／(株)ヨドコウ／三和シャッター工業(株)／パーパス(株)

# 委員会活動内容の紹介



**専門部会**

住宅の省エネルギー化への対応、リフォーム需要の拡大への対応、長期使用時の安全安心な住宅部品のあり方の追求、優良住宅部品の普及促進、情報の収集と発信等々、数多くの住宅部品メーカーで構成される団体ならではの、横断的な活動を行っています。また、行政の動向をいち早く知ることができたり、行政に対し提言できる場が設けられたり等のメリットがあり、会員相互の情報交換も活発に行われています。

**空間等別部会**

バス、トイレ、キッチン等各空間の観点から、上記専門部会の活動内容に関するテーマを行っています。また、その空間に関わる住宅部品メーカーが集まって、その空間独自の課題を抽出し、調査検討を行っています。別途、講習会や工場、施設等の見学会も企画開催されますので、知識の蓄積や見聞を広めること、さらには会員相互交流により自社レベルアップを図るためにも有効な活動を行っています。

# 住宅部品の基礎知識 アメニティCafe

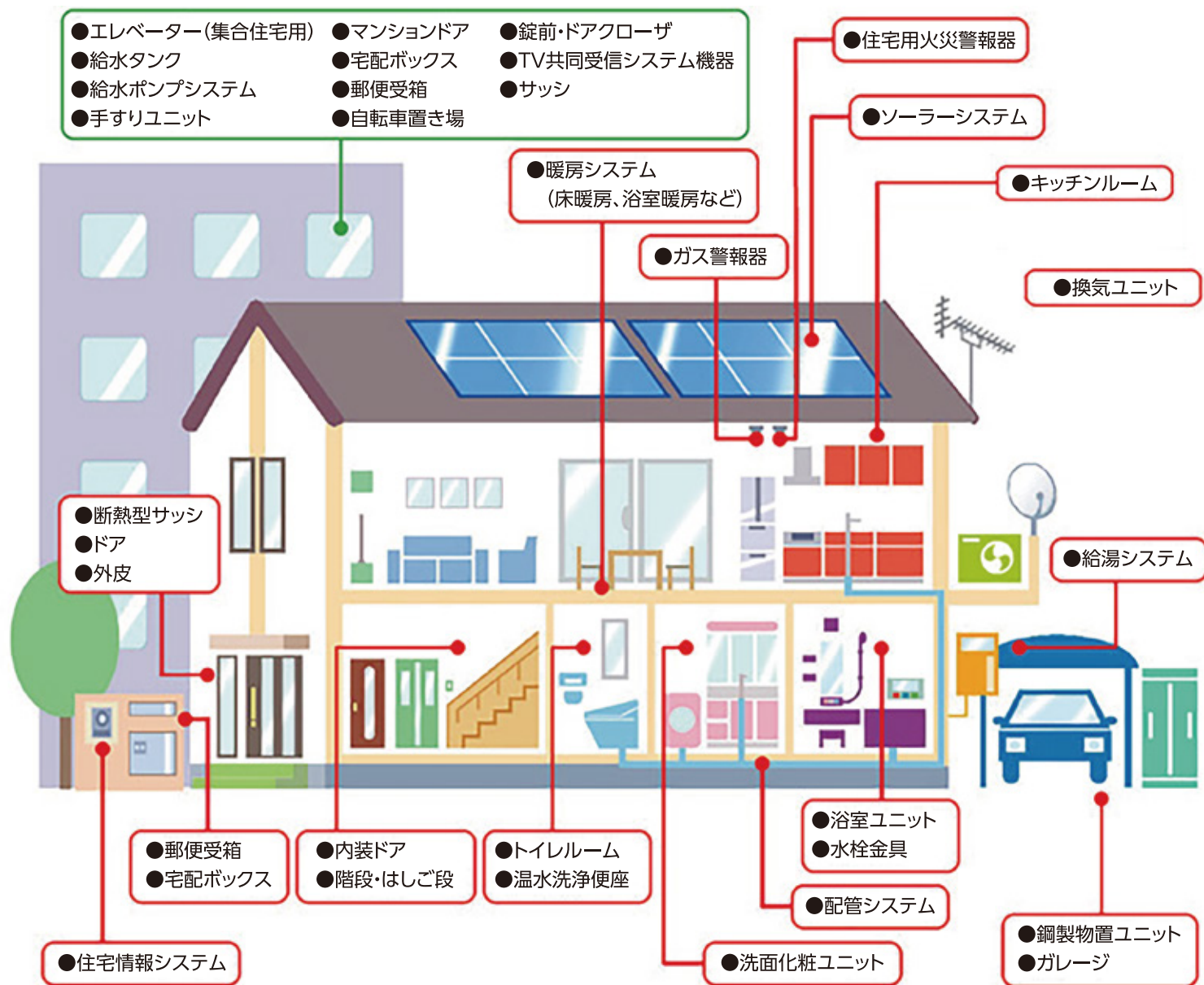
住宅設備や建材について、機能や注意点、お手入れなどの基礎知識の他、設計・施工や維持管理の際に確認していただきたいことを解説しています。

詳細はHP

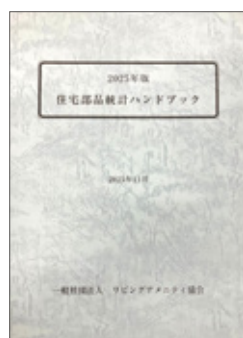
アメニティCafe

検索

<https://www.alianet.org/amenitycafe/>



## 出版物等



住宅部品統計ハンドブック



自分で点検!ハンドブック



経年劣化スタディブック

- 内装建材の警告表示に関するガイドライン
- 住宅部品VOC表示ガイドライン
- クリーンウッド運用ガイド

## 住宅部品点検の日

長期にわたって、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、当協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「自分で点検!ハンドブック」等の発行・公表を行っています。一方で、広く居住者の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的として、2012年に「住宅部品点検の日」を制定し(10月10日)、毎年シンポジウムを開催しています。また、お手入れ点検に関する情報を分かりやすく発信する住宅部品点検スペシャルサイト「ジュウテン」や「お手入れ点検ポータル」(<https://tenken1010.org/portal/>)を開設運営しています。

家族みんなでしっかり点検!

10月10日は

ジュウテン  
住宅部品点検の日



詳細はHP

ジュウテン

検索

<https://tenken1010.org>

## 窓の総合熱性能評価プログラム

# WindEye®

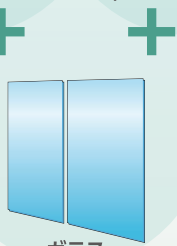
(JIS A 2102、2103 対応)



フレーム  
(サッシ)



遮蔽物  
(ブラインドなど)



ガラス



WindEye® 窓モデル

WindEye® で窓全体 (フレーム+ガラス+遮蔽物) の  
熱貫流率 (U値)、日射熱取得率 ( $\eta$  値) を  
任意の窓サイズで計算可能  
↓  
「省エネ基準」に対応できます



詳細はHP

WindEye

検索

<https://www.alianet.org/windeye/>

### WindEye®の特長

- フレーム(サッシ)、ガラス、遮蔽物を一体として評価しています。
- 窓の熱性能を評価する国内唯一のプログラムです。
- 窓、ガラス中央部、玄関ドアの3つの性能の検討が行えます。
- 一度計算した結果は、いつでも取り出せます。
- プログラムの操作は簡単で誰でも扱えます。
- ALIAのホームページから無料でご利用できます。

### 窓の熱性能審査委員会

窓の断熱性能を評価するプログラムWindEyeを開発しました。個別の製品であるフレーム(サッシ)、ガラス、遮蔽物を任意に組み合わせた時の窓の熱貫流率を任意の窓サイズで計算可能となっています。省エネ基準への適合も判断できます。日射熱取得率対応版もあり、個別の製品であるフレーム、ガラス、ブラインドなどを任意に組み合わせた時の日射熱取得率の計算に対応しています。

窓の熱性能審査委員会では、これら評価プログラムの機能充実により、窓種の拡充等を図っています。また登録商品数を増加し、より多くの窓に対する情報を提供できるようにするとともに、利用拡大に向けた普及啓蒙を行っています。

# SDGs(持続可能な開発目標)への貢献活動

当協会は、暮らしを支える住宅部品のメーカー等の集団として、「誰一人取り残さない」を基本理念として全ての人の生活の豊かさを目指すSDGs(国連が掲げる持続可能な開発目標)の達成に貢献することは、重要な使命と考えています。

ALIAでは2つの観点から、SDGsに貢献していきます。

- ①ALIAと住宅部品メーカーである会員企業は、モノづくりを通じて、省エネ、節水、健康など多くの分野で、SDGs達成に貢献していきます。
- ②「モノづくりを通じた取り組み」に加え、「貧困」「飢餓」「平和と公正」などの社会問題分野では、新たな取り組みとして「ALIAこども応援プロジェクト」として、「こども食堂」への支援を行っています。

(「ALIAこども応援プロジェクト」は2030年度まで実施延長)

## 「住宅部品×SDGs」宣言

優良な住宅部品の開発・供給・普及を通じ、SDGsの達成に貢献することを宣言しました  
(2020年10月)

## ALIA こども応援プロジェクト

未来を担う「こども」を応援するため、「こども食堂」への住宅部品等の無償提供をスタートしました  
(2022年度から)

※詳しくは、ALIAホームページ

『SDGs(持続可能な開発目標)への貢献活動』をご覧ください。

<https://www.alianet.org/guides/sdgs/>



『「住宅部品×SDGs」宣言』をご覧ください。

<https://www.alianet.org/guides/sdgs/declaration/>



## モノづくりを通じた取り組み

### 給湯設備の高効率化(省エネ等)

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、住宅における一層の省エネが求められています。住宅におけるエネルギー消費量の約3割を占める給湯設備は、2000年以降、劇的に省エネ化が進展しています。

2000年：エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯器)

2001年：エコキュート(自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ式給湯機)

2006年：エコフィール(潜熱回収型石油給湯機)

2009年：エネファーム(家庭用燃料電池コジェネレーションシステム)

2015年：エコジョーズとヒートポンプユニットを組み合わせたハイブリッド給湯暖房システムなど



当協会では、  
会員企業や関係団体とともに、  
高効率給湯機の普及活動を  
展開しています。

### 窓の熱性能の向上(省エネ・健康等)

住宅における屋外との熱の出入りのうち、窓などの開口部からのものが過半を占めており、冷暖房の省エネには、窓の熱性能向上=熱の出入りの抑制が有効です。

1980年代からサッシの断熱化が進められ、2025年の出荷量は、素材別では熱伝導が少ない樹脂サッシとアルミ樹脂複合サッシが98%超、ほぼ全てに複層ガラスを取付、Low-Eガラス(低放射ガラス)が85%程度と、断熱化が著しく進展しています。そして既存住宅の断熱性能の向上を図るため、既存サッシの内側に樹脂製サッシ取り付け「断熱内窓」設置工事など、断熱リフォームを促進しています。

窓の断熱性能の向上は、エネルギー使用量の抑制のみでなく冬の冷気を防ぐなど居住者の温熱環境の向上に寄与し、健康・快適な暮らしを実現します。



当協会では、  
会員企業や関係団体とともに、  
断熱性向上に貢献する  
窓の普及活動を展開しています。

## トイレの節水化等(節水・省エネ等)

トイレの洗浄水量(大洗浄)は、1970年代の約13リットルから、2020年代には5リットル以下が主流となり、節水率は6割超となっています。「節水」は、住宅におけるエネルギー消費量にはカウントされていないものの、上水の取水・浄水・配水と、下水の浄化等のための使用エネルギーの抑制を通じて、気候変動対策に寄与するものです。節湯水栓(シャワーヘッド等)は、「節水」とともに、お湯を作るための使用エネルギーも抑制します。



当協会では、  
会員企業や関係団体とともに、  
これらの節水・省エネ機器の  
普及活動を展開しています。

## 住宅部品の長寿命化(安全・廃棄物削減等)

住宅部品を安全・快適に長期間使えるよう、住宅部品メーカーは製品の長寿命化に向けて研究・技術開発を進めています。

長期間使用ができれば、ユーザーにとっては経済的であるとともに、環境にとっては取替サイクルが長くなり廃棄物の削減にも寄与します。

しかし、工業製品である限り、経年劣化は避けられません。一般的に、故障発生率は、一定の期間を経過すると、急激に増加する傾向にあり、突然の故障や事故発生は、生活利便性の低下や、修理・取替等の不満が残ることになりかねません。



当協会では、  
住宅部品の「日常的な点検」の  
普及活動を展開しています。

## 「ALIA子ども応援プロジェクト」の推進

当協会は2022年度から、未来を担う子どもを応援する「ALIA子ども応援プロジェクト」を開始し、子ども食堂への住宅部品等の無償提供をはじめました。

子どもの貧困対策等として各地のNPO等が始めた子ども食堂が、地域の様々な課題に対応するため、居場所づくり・学習支援など幅広い活動の場づくりへと発展し、SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」に調和する活動と評価されています。しかしながら、子ども食堂は、公的制度ではなく、その活動は寄付等で賄われている場合が多く、人手や食材の確保とスペースの環境整備に苦慮しています。

当協会では新設・改修等を行う子ども食堂に対して、会員企業の商品等を無償で提供しています。子ども家庭庁が子ども支援策の一環で設置しているマッチングネットワーク推進協議会を活用し、住宅設備・建材等のほか、出前講座の実施など、全国各地に幅広く支援を実施しています。

## 2025年度までの寄贈実績例



樹脂内窓



インテリア畳



キッチン水栓



キッチン用水切り棚



ガステーブルコンロ



企業ミュージアム見学

当協会からの子ども食堂への支援は、マッチングネットワーク推進協議会の構成団体のひとつである「認定NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ」が担っており、協働で支援を実施しています。



詳細はHP

ALIA子ども応援プロジェクト

検索

<https://www.alianet.org/guides/sdgs/project/>



●電車でのアクセス

JR飯田橋駅 西口 徒歩2分

東京メトロ南北線 有楽町線 東西線 都営大江戸線

飯田橋駅 A4 出口 徒歩2分

## 一般社団法人 リビングアメニティ協会

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目7番2号  
ステージビルディング 6階

TEL.03-5211-0540 FAX.03-5211-0546

ホームページアドレス <https://www.alianet.org>

